

2025年度一般選抜(学部学科試験・共通テスト併用方式)
記述式問題 解答例

学部・学科:2月7日 神学部 神学科

1

問2	(a)	ユダヤ教
	(b)	律法
	(c)	罪人
	(d)	十字架
	(e)	ペトロ
	(f)	パウロ

2

問1	<p><回答例> 人間存在は矛盾に満ちている。自分の限界を感じながらも限りない欲求を持ち、より優れた生に招かれていると感じている。人間は自分の内の分裂に苦しみ、そのため社会の中には多くの重大な不和があり、それが現代世界の不均衡を生み出している。多くの人々は心の安らぎや人類の解放を求めているが、物質主義や人間の成功を重視する風潮の中で、人生の意義を見出す困難も抱えている。そのため、根源的な問いを発する人が増えている。</p>
	<p><採点基準> 以下を基準として採点を行った。 1)人間の心と社会の問題が深く関わっていることに言及していること。 2)キーセンテンス:「人間は自分自身の中で分裂に苦しみ、その分裂のため、社会の中にあれほど多くの重大な不和が生じるのである」の意味や文章がどこかに引用されていること。 3)「限界」、「欲求」、「優れた生」、「分裂」、「重大な不和」などのキーワードが適切に使われ、論理的に説明されていること</p>

2025年度一般選抜(学部学科試験・共通テスト併用方式)
記述式問題 解答例

学部・学科:2月7日 神学部 神学科

問2	<p><採点基準> 以下を基準として採点を行った。</p> <ol style="list-style-type: none">1)文章の意図を正確に読み取り、キーワードを適切に用いつつ、全体が論理的にまとめられていること。2)以下のポイントの内、論述の中にいくつかのポイントが盛り込まれていること <ol style="list-style-type: none">1)生態学的危機を解決するためには、人間の回心が必要である。2)その回心は個人的レベルだけではなく、共同体の回心でなくてはならない。3)創造主である神への感謝、人間が万物の交わりの中で生きる存在である認識の必要性。4)人間は各人の能力、創造性、熱意を通して責任をもって世界の諸問題を解決することへと招かれている。5)回心のためには、物質的な執着や快樂にとらわれない「素朴さ」、もしくは節欲が必要であるが、それは同時に人間を解放し、生をまっとうする生き方への招きである。6)この回心のためには、被造界との調和を回復する時間が必要であり、自分のライフスタイルや理想を反省し、創造主である神との絆を取り戻す必要がある。
----	--